

ホラシノブ (洞忍)

名前の意味^{いみ}：シノブににて、^{どうくつ}洞窟のあるようながけに生えるから。

分類：シダ類、イノモトソウ科、ホラシノブ属

好きな場所^{ひかげ しめ}：日陰の湿ったがけ

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた^{じせい} (自生)

特徴：地面から出る細かく切れ込んだ葉、^{しょううへん}小羽片の先は丸く、裏に膜がついていることがある。

胞子の運ばれかた^{ほうし}：風に飛ばされる

花弁の数：花はない

葉のある時期：一年中

見分け方：タチシノブの^{しょううへん}小羽片の先は、^{とが}尖っている。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

^{そうごうなんいど}総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)